



平成30年7月13日

各 位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
 代表者名 代表取締役社長 長 井 啓
 (コード番号 : 6324)
 問合せ先 取締役 丸山 顕
 執行役員 上條 和俊
 TEL. 03-5471-7810

第1四半期受注高・売上高実績（単体）について

当社の平成31年3月期 第1四半期（平成30年4月1日～平成30年6月30日）の受注高・売上高実績（単体）を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期 第1四半期実績（単体）

（金額単位：百万円）

製品区分	受 注 高			売 上 高		
	金 額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)	金 額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)
減 速 装 置	7,899 (1,320)	48.7 (24.9)	49.0 (43.4)	10,731 (2,743)	147.9 (170.7)	113.1 (111.1)
メカトロニクス製品	1,646 (561)	92.6 (77.7)	82.4 (66.1)	1,575 (655)	143.7 (160.0)	115.5 (126.5)
合 計	9,546 (1,881)	53.1 (31.2)	52.7 (48.4)	12,307 (3,399)	147.3 (168.5)	113.4 (113.7)

注) 括弧内の数字は輸出受注高及び輸出売上高であります。

2. 第1四半期の概況

- 当第1四半期の受注高は、前年同期比、前四半期比ともに減少の95億46百万円となりました。
- 用途別の受注動向につきましては、前年同期比で、モーターメーカー向けギアヘッド、石油掘削装置向けは増加しましたが、産業用ロボット向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向けなどが減少しました。前四半期比では、産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッド、石油掘削装置向けなど主要用途全般に減少しました。
- 受注高の減少は、中国市場をはじめとする小型産業用ロボットの在庫調整に伴い、これまで高水準であった減速装置に対する需要が軟調となったこと、旺盛なFA化ニーズを背景に先行発注をかけていただいていた産業用ロボット、半導体製造装置メーカーなどのお客様による発注調整が行われたことが主な要因です。
- 当第1四半期において、前四半期以前の受注分のうち、中国市場における在庫調整や、一部のお客様の生産計画変更などを主因とした先行発注品に対する受注の取り消し等が24億23百万円発生しておりますが、当該受注の取り消しによる受注残高の減少額は限定的であり、引き続き受注残高は高水準を維持しているため、現時点において平成31年3月期に係る業績予想の修正はありません。なお、当第1四半期における受注活動の結果と実需を適切に表すため、上記の受注実績は当該取り消し額を差し引く前の金額を記載しております。

- (5) 輸出受注高も前年同期比、前四半期比ともに減少しました。地域別では、前年同期比、前四半期比ともに、中国、韓国、北米、欧州などほぼ全ての地域において減少しました。
- (6) 当第1四半期の売上高は、前年度から取り組んでいる設備投資や人員増強などによる生産能力引き上げ策が奏功し、前年同期比では47.3%増加、前四半期比では13.4%増加の123億7百万円となり、四半期ベースにおける過去最高額となりました。

本資料に記載の数値は、会計監査人による監査を受けておりませんので、正式な決算数値とは差異が生じる可能性があります。

以上